

<世界経済の見通し>

○国内経済: 最悪期を脱するも底這い基調、本格回復は2010年後半以降

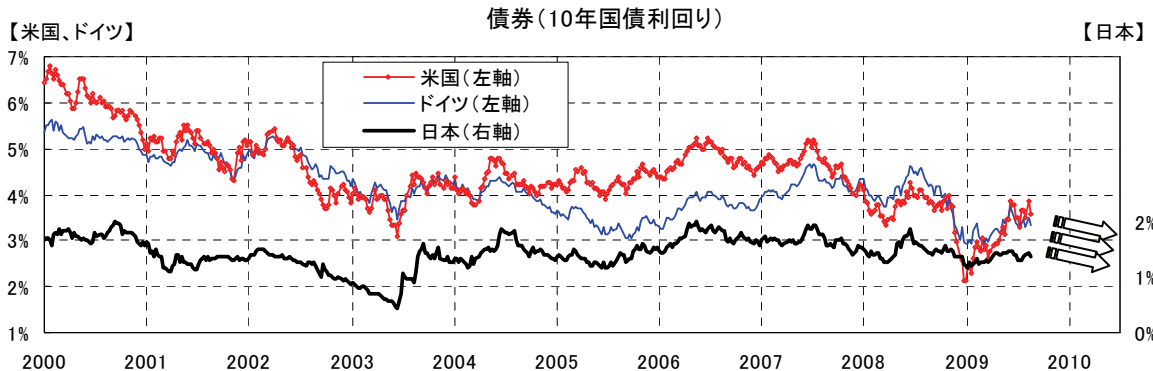
- ・新興国の景気刺激策や在庫調整の一巡、生産持ち直しで目先下げ止まりも底這い継続。
- ・年後半以降も外需低迷で底這い継続。年明け以降持ち直すも、緩やかなペースにとどまる。

○米国経済: 悪化ペースは緩和も低迷継続、本格回復は2010年後半以降

- ・急速な在庫削減による生産の持ち直しや政策前倒しで悪化ペースは緩和も低迷継続。
- ・夏場以降も最終需要が弱く低迷継続、年明け以降持ち直すもペースは緩慢。

○欧州経済: 外需減速一服で下げ止まりも底這い継続、本格的な持ち直しは2010年以降

- ・生産の下げ止まりで目先持ち直しも、最終需要の低迷で底這い継続。
- ・来年以降景気刺激策の効果で緩慢ながら持ち直し。本格的な持ち直しは来年後半以降。



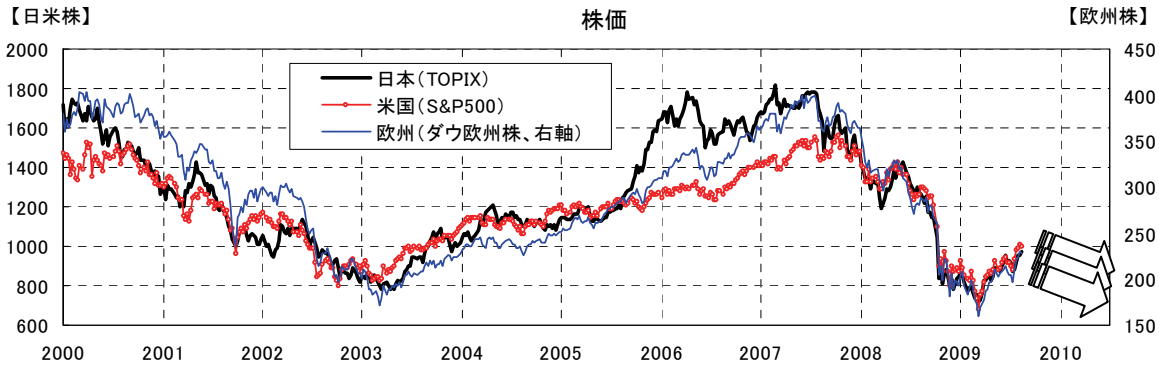
<債券相場の見通し>

○国内債券: 景気悪化と物価への下押し圧力継続で金利は低下傾向

- ・国内景気の悪化で金利は低位推移。
- ・需給ギャップの拡大から物価には強い下押し圧力が継続。

○欧米債券: 景気低迷と低インフレの継続から金利は低下傾向

- ・GDP成長率は潜在成長率を大幅に下回り、物価への下押し圧力も強く金利は低下基調。
- ・財政政策の景気浮揚効果は乏しく、構造調整継続から金利は低位推移。



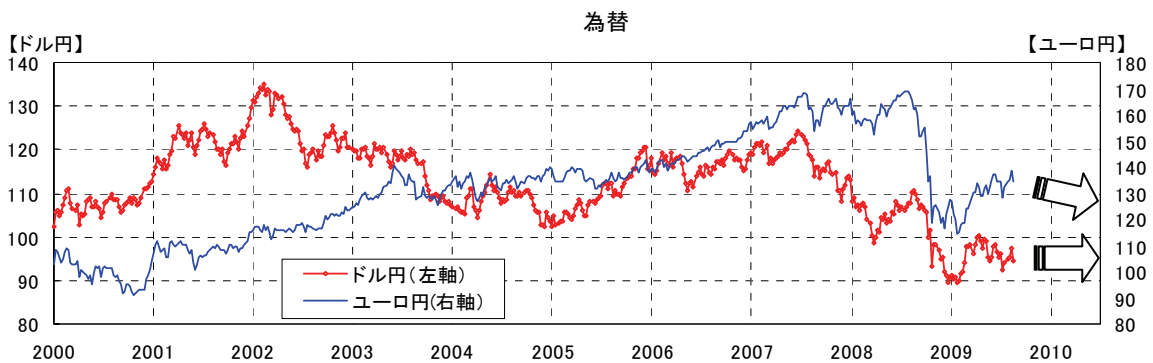
＜株式相場の見通し＞

○国内株式：生産調整一巡から反発も、業績低迷から先行き軟調

- ・ 景気の最悪期通過も個人消費低迷、業績不振継続から株式は先行き軟調な展開。
- ・ 株価の本格反転は世界景気の持続的拡大が見込まれる来年以降。

○欧米株式：循環景気回復一巡から株価は先行き軟調推移

- ・ 最終需要の低迷で業績の低調推移が続き、株式は先行き軟調推移。
- ・ 株価の本格反転は先進国の財政拡大から景気押上げが見込まれる来年以降。



＜為替相場の見通し＞

○ドル円：景況感格差に方向感無くレンジ推移

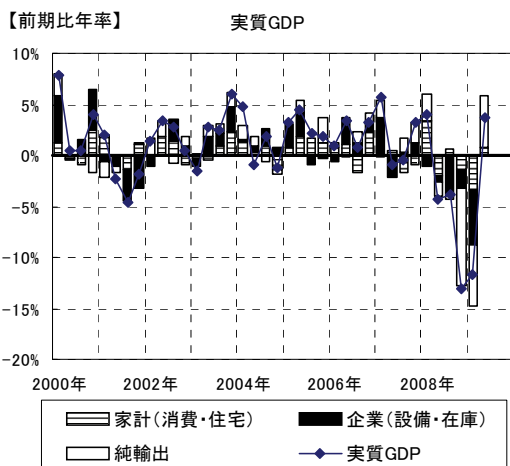
- ・ グローバルな景気低迷から内外景況感格差に方向感無し。
- ・ リスク回避による円高圧力は存在も、米国投資家の本国回帰によるドル高で相殺。

○ユーロ円：マネタリーベース格差拡大とリスク回避で円高ユーロ安

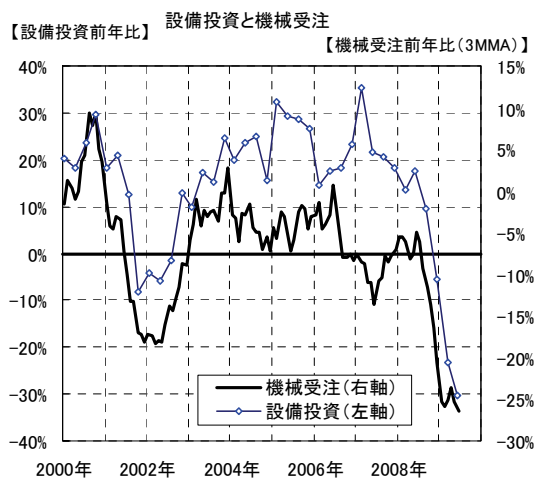
- ・ マネタリーベース格差拡大により、ユーロ安トレンドが継続。
- ・ 世界景気の悪化を背景に投資家のリスク許容度が低下する中、ユーロは軟調推移。

☆ Monthly Economics は、8月17日発表までのデータを元に作成しています

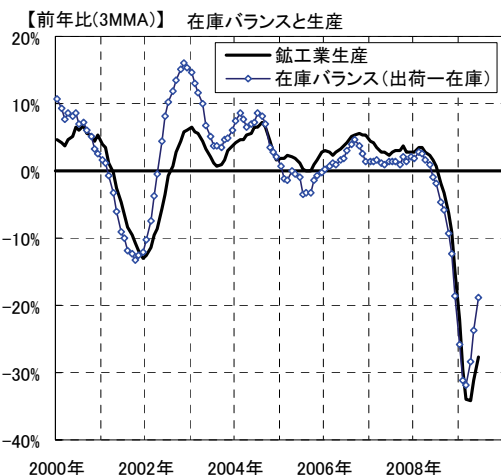
○全体:急落後持ち直し



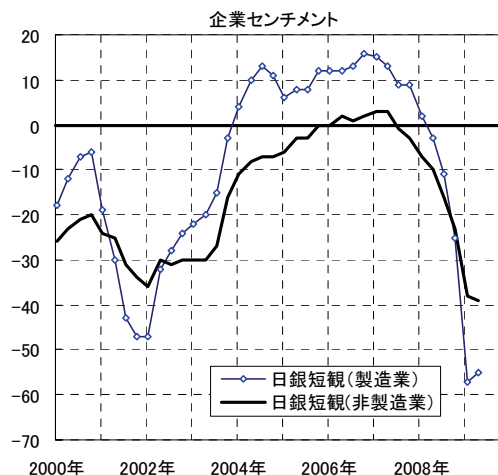
○設備投資:機械受注は低調推移



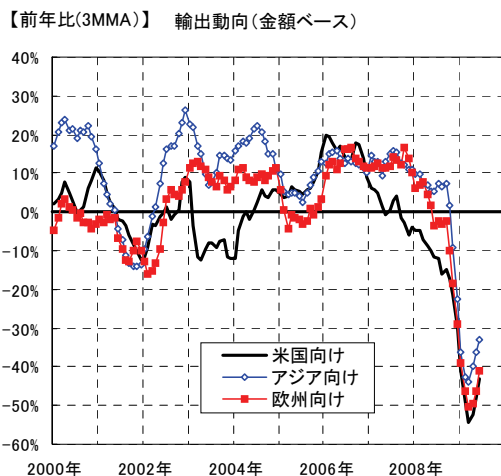
○生産:生産持ち直しの動き



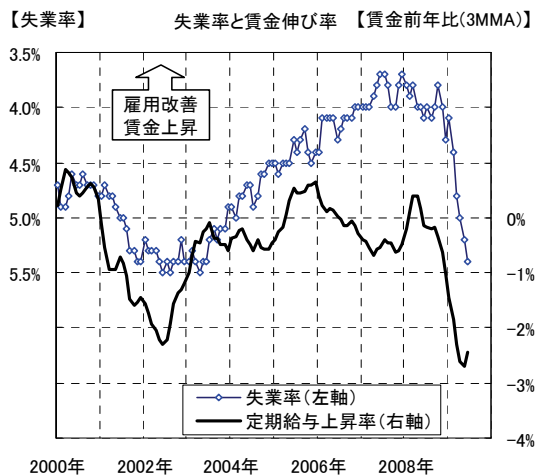
○生産:製造業センチメントに下げ止まりの動き



○輸出:全地域下げ止まりの動き

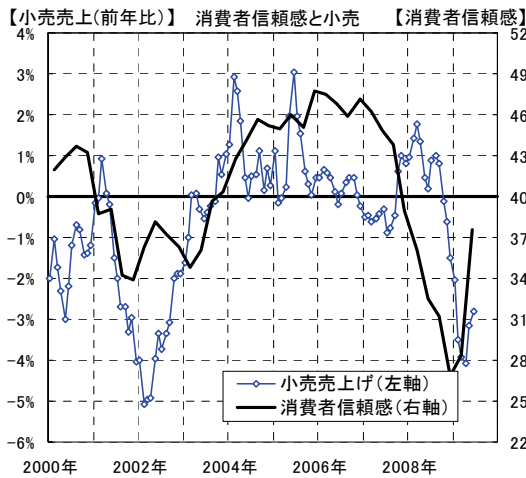


○雇用:賃金伸び率はマイナス幅拡大

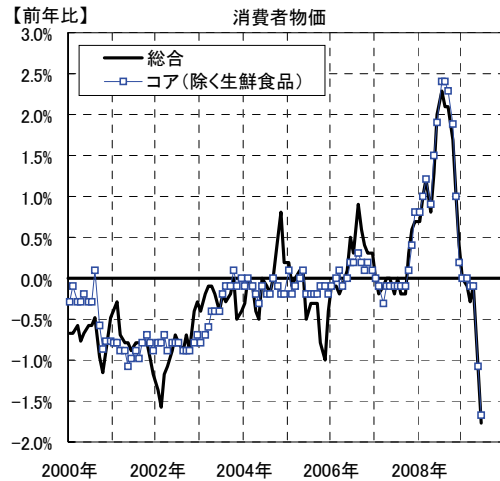


出所:Datastream より三菱UFJ信託銀行作成

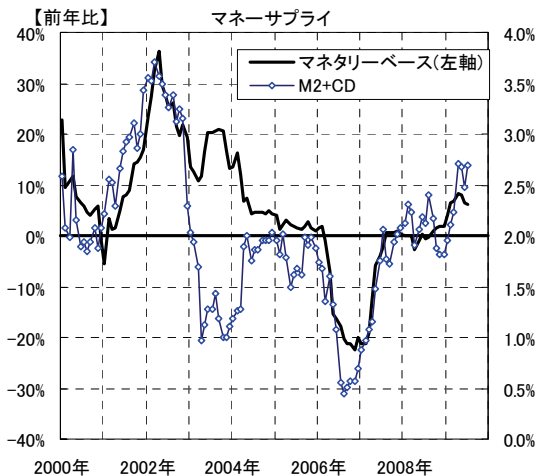
○消費：センチメントの改善継続



○物価：エネルギー価格下落で物価は低迷



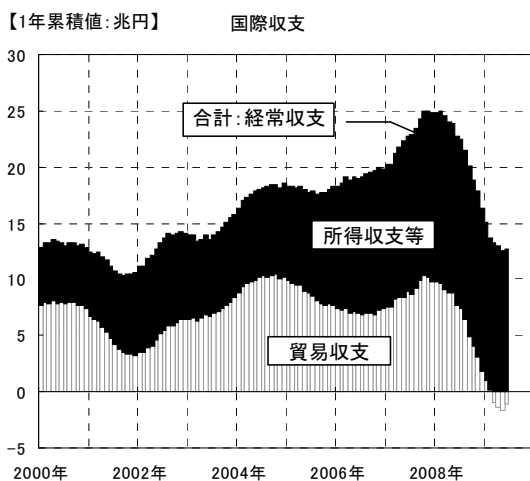
○金融：マネーは拡大基調



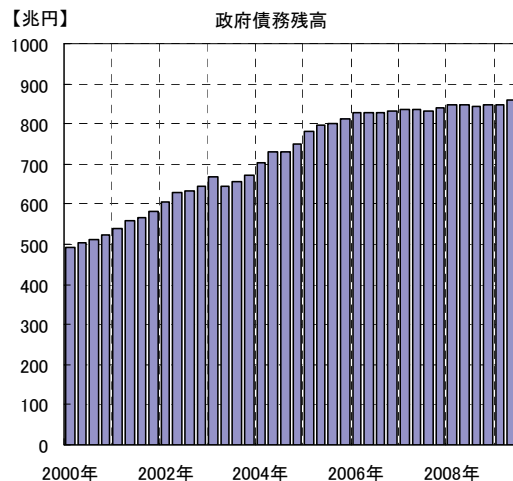
○金融：銀行貸出拡大はピークアウトの兆し



○国際収支：経常黒字は急縮小

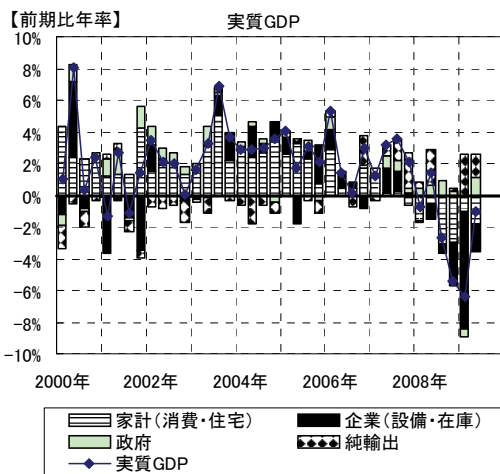


○財政：財政赤字横ばい

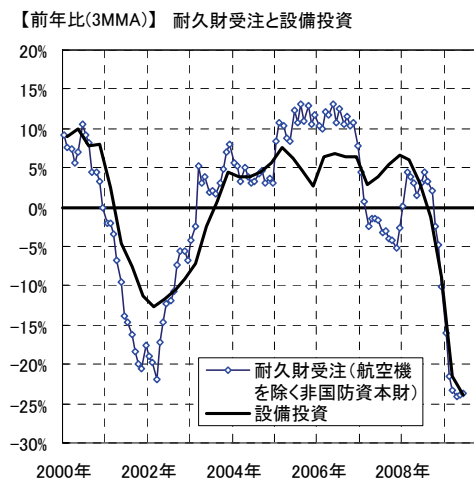


出所：Datastream より三菱UFJ信託銀行作成

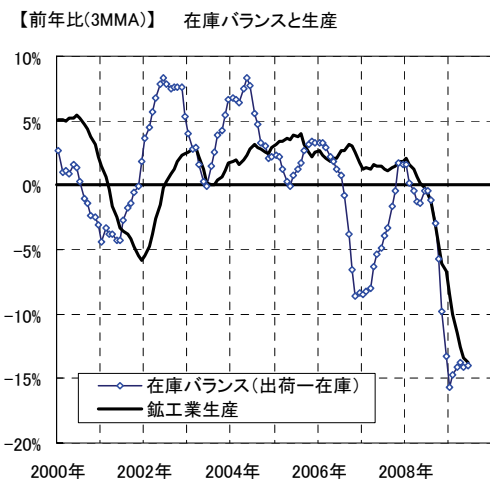
○ 全体: 歴史的な落込み



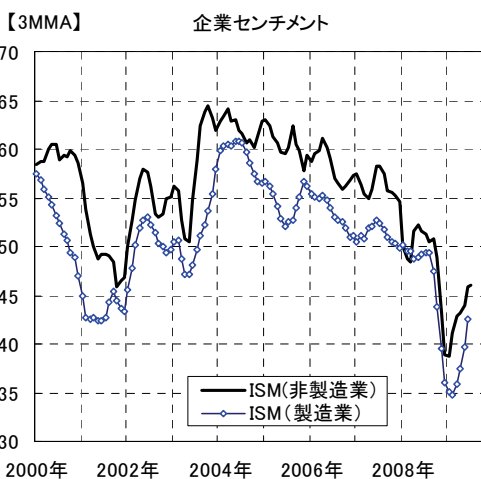
○ 設備投資: 受注の減速が一服



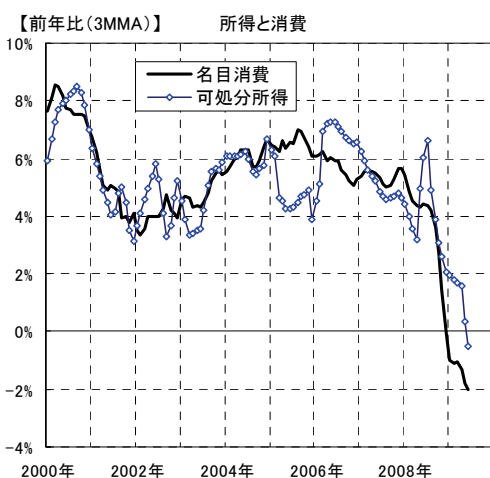
○ 生産: 生産下げ止まりの兆し



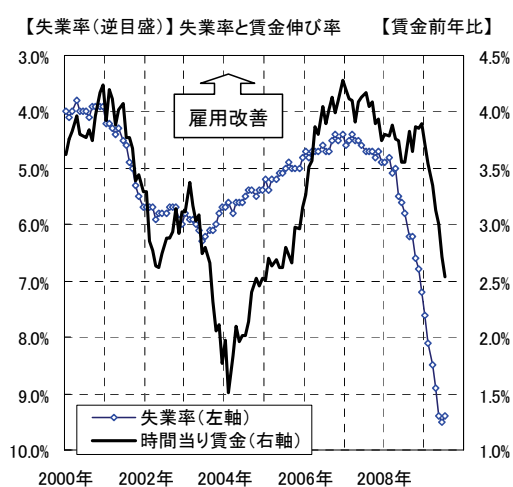
○ 生産: 企業マインドは底値から改善傾向



○ 個人消費: 消費悪化が続く



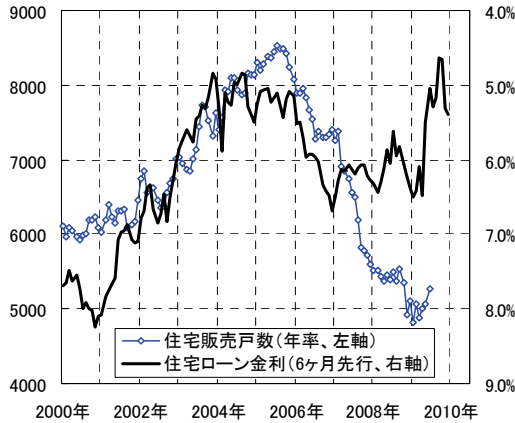
○ 雇用: 失業率は大幅上昇



出所: Datastream より三菱 UFJ 信託銀行作成

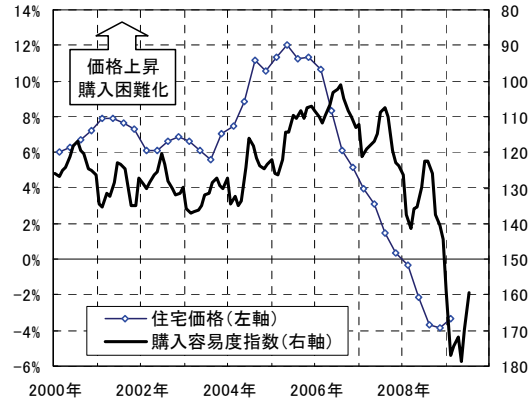
○住宅:ローン金利低下も、販売低迷継続

【販売戸数:千戸】住宅販売とローン金利【ローン金利(逆目盛)】



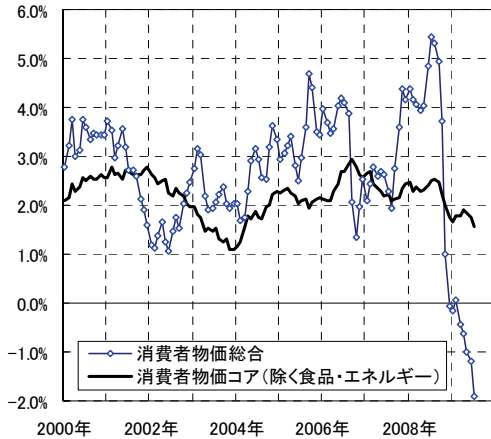
○住宅:価格低下に下げ止まりの動き

【価格前年比】住宅価格と購入容易度【購入容易度(逆目盛)】



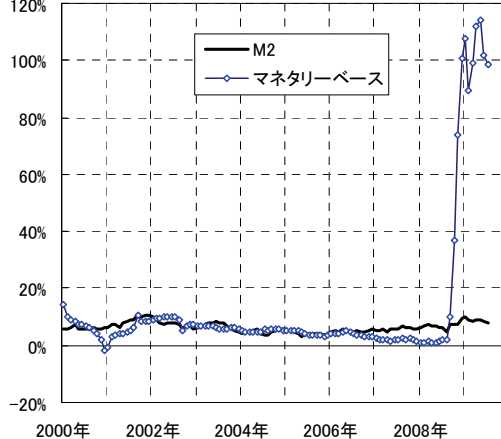
○物価:エネルギー下落で総合物価は低迷

【前年比】消費者物価



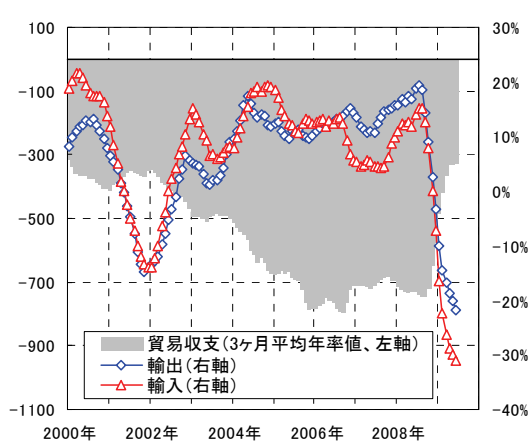
○金融:マネタリーベースが急速に拡大

【前年比】マネーサプライ



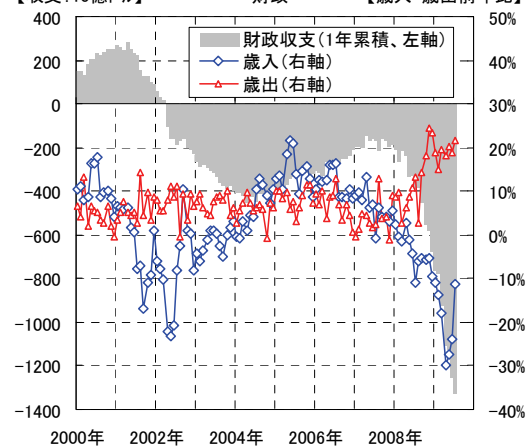
○貿易:輸入減速で貿易赤字縮小

【収支:10億ドル】貿易 【輸出入前年比】



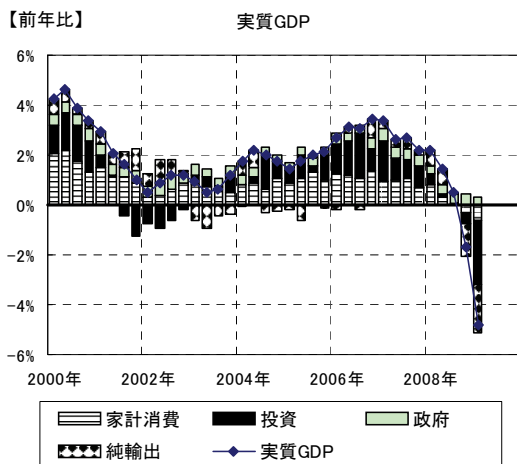
○財政:収支大幅悪化

【収支:10億ドル】財政 【歳入・歳出前年比】

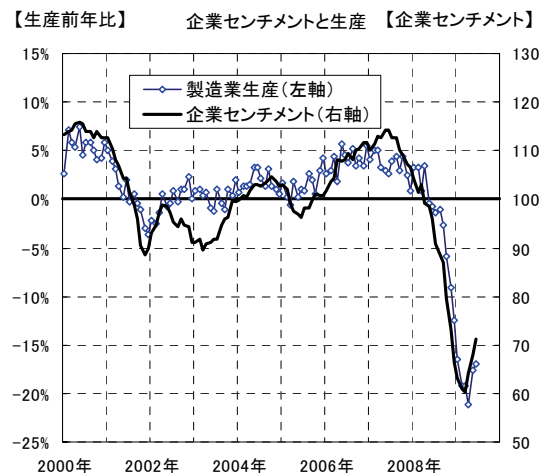


出所:Datastream より三菱UFJ信託銀行作成

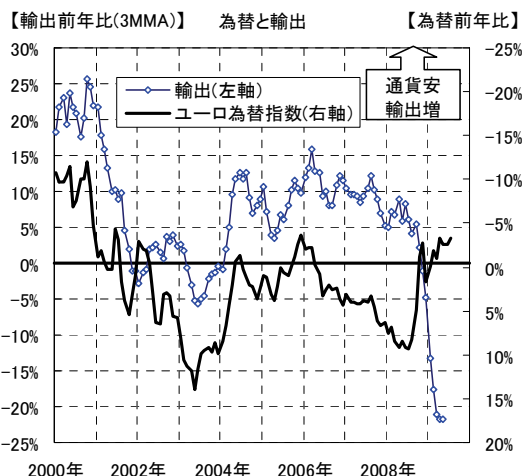
○全体:歴史的な落込み



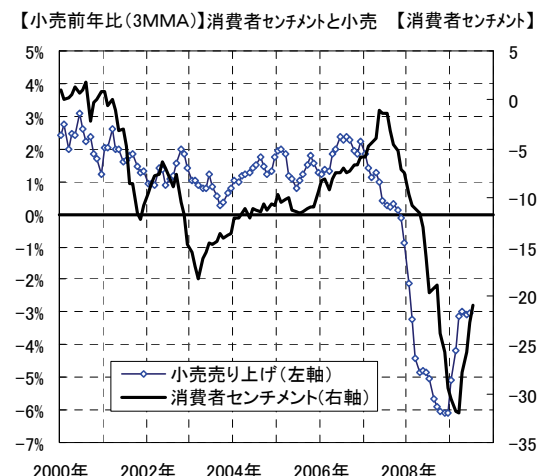
○生産:センチメントの悪化が一服



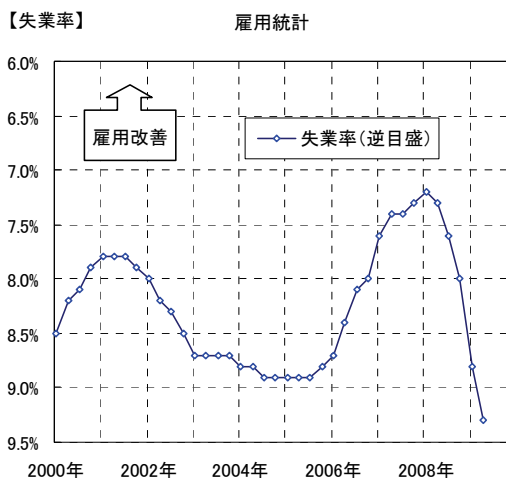
○輸出:輸出失速



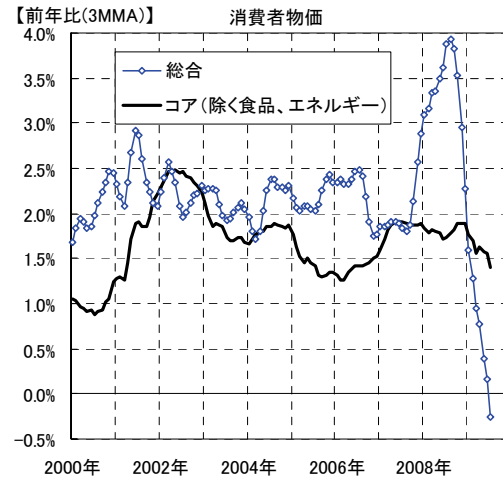
○消費:センチメントに改善の動き



○雇用:悪化

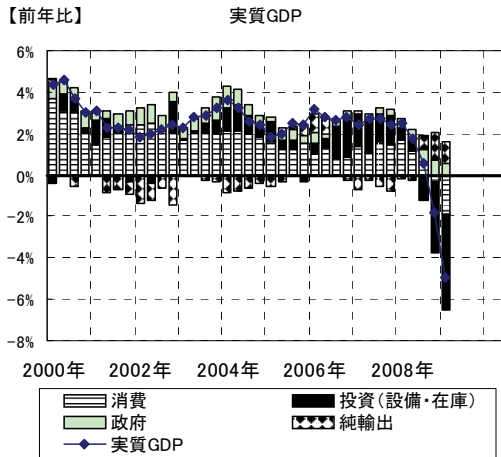


○物価:総合物価伸びが急縮小

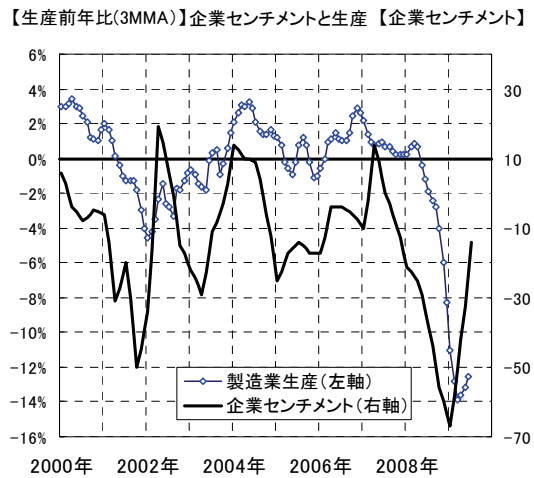


出所:Datastream より三菱UFJ信託銀行作成

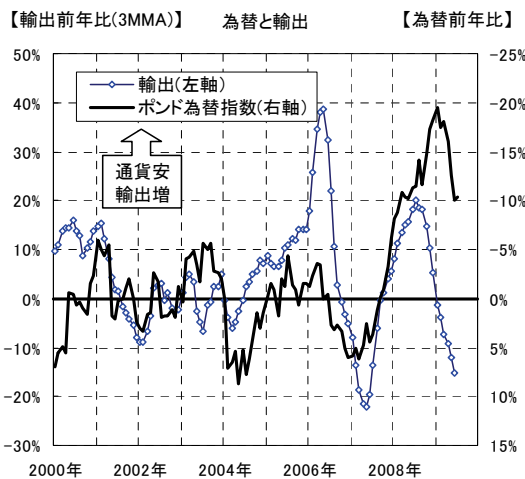
○ 全体:歴史的な落込み



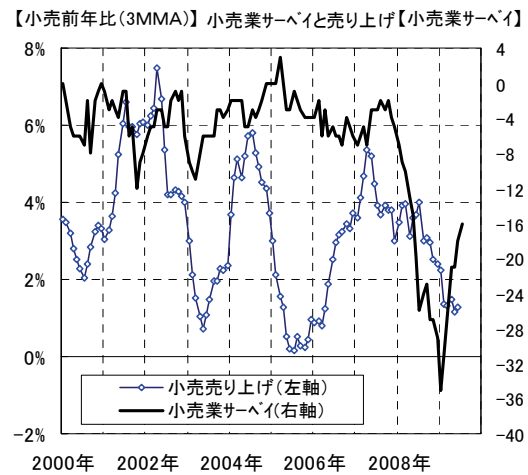
○ 生産:センチメントの改善継続



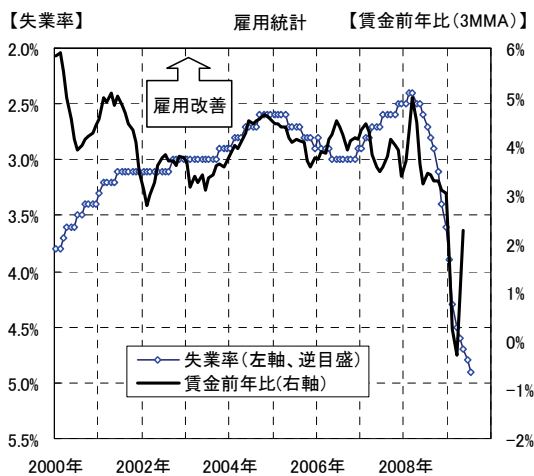
○ 輸出:輸出低迷



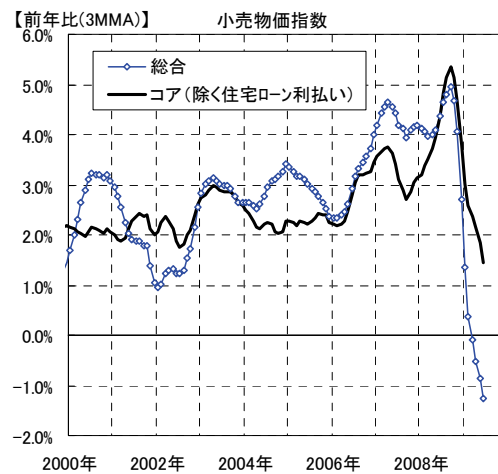
○ 消費:センチメントの改善継続



○ 雇用:失業率大幅悪化、賃金減速

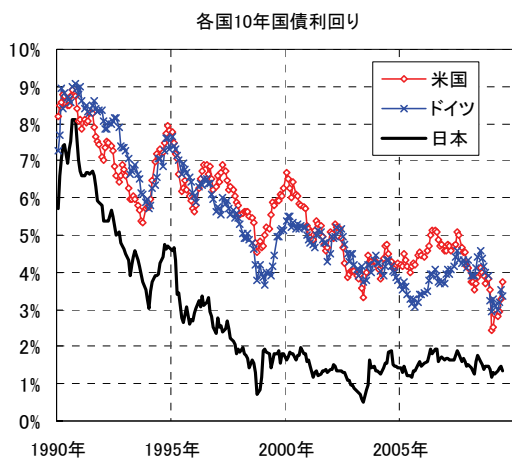


○ 物価:総合・コア物価とも大幅調整

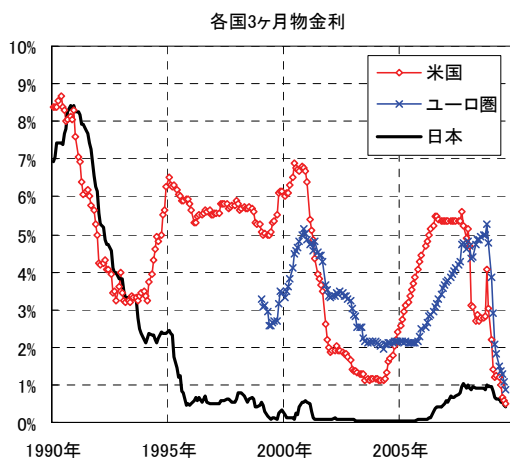


出所:Datastream より三菱UFJ信託銀行作成

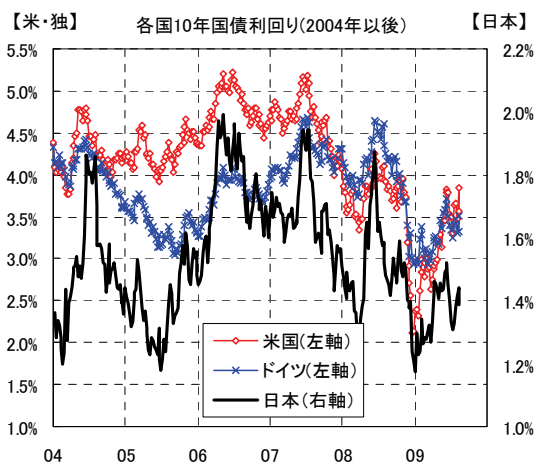
○ 長期金利: 低位推移



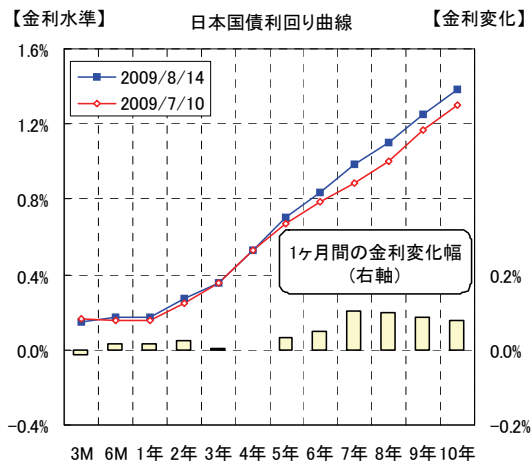
○ 短期金利: 低下継続



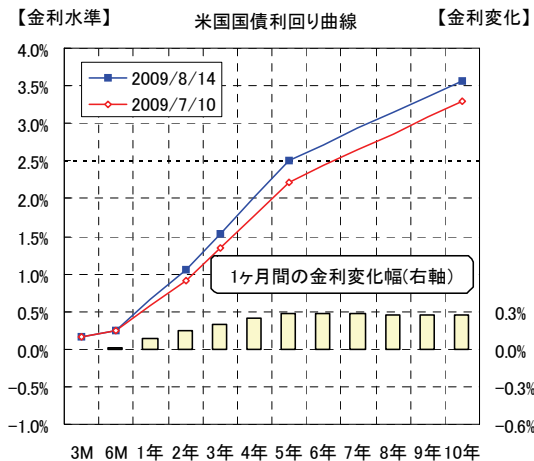
○ 長期金利(2004年以降): 低下後上昇基調



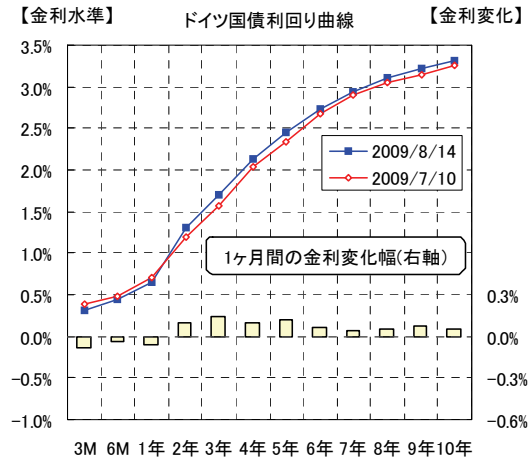
○ イールドカーブ(日本): 中長期中心に上昇



○ イールドカーブ(米国): 全般的に小幅上昇

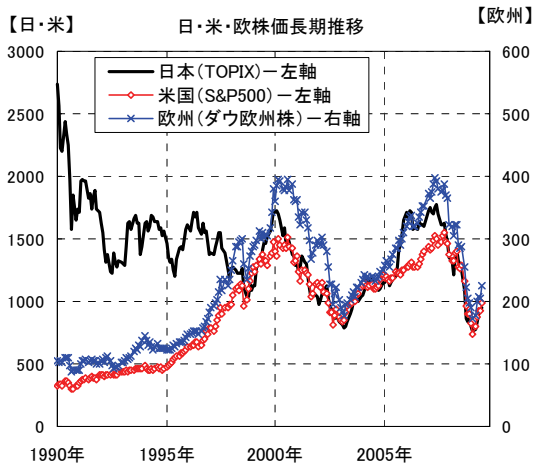


○ イールドカーブ(ドイツ): 短中期中心に上昇

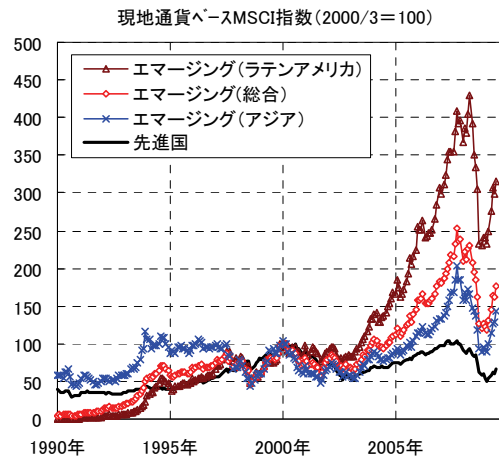


出所: Datastream、Bloomberg より三菱UFJ信託銀行作成

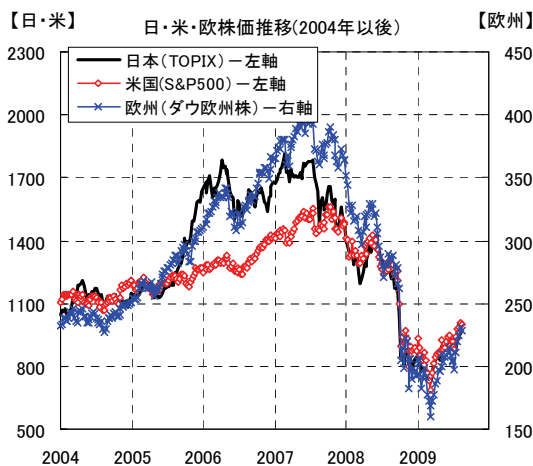
○ 3 極株価(長期):安値圏から反発



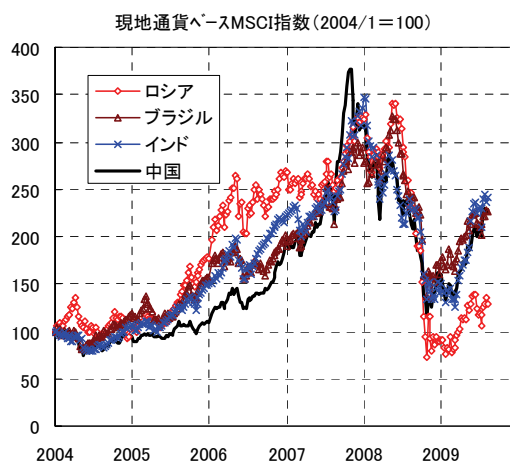
○ EM 株価(長期):急落後上昇基調



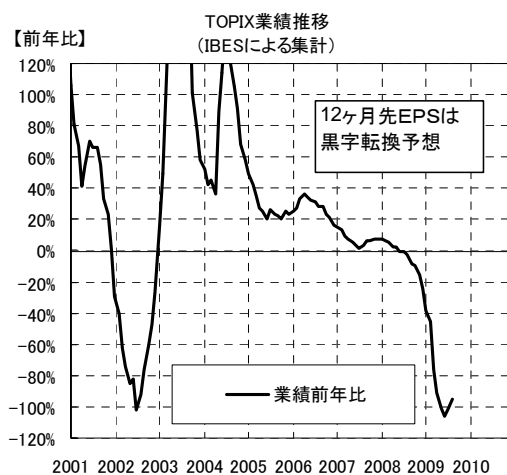
○ 3 極株価(2004 年以降):底値から反発



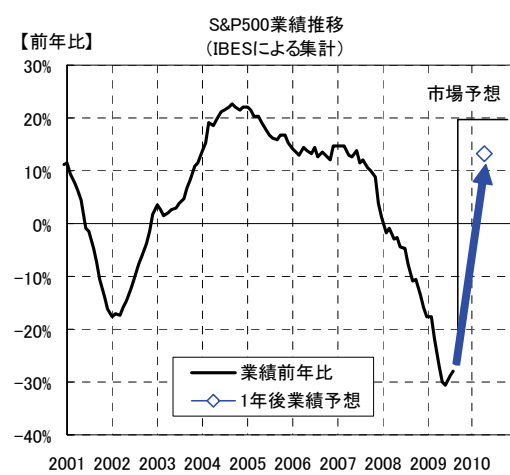
○ BRICs 株価(2004 年以降):底値から急上昇



○ 業績(日本):黒字転換見通し

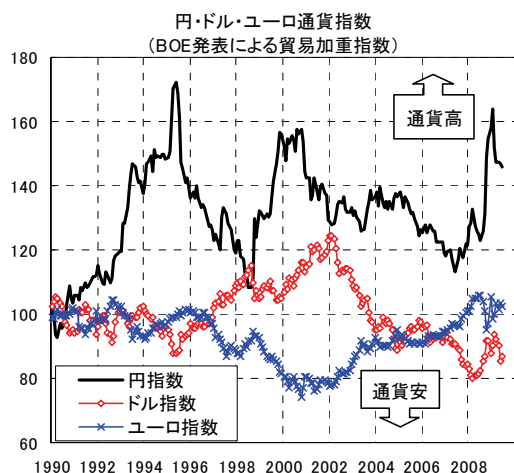


○ 業績(米国):増益見通し

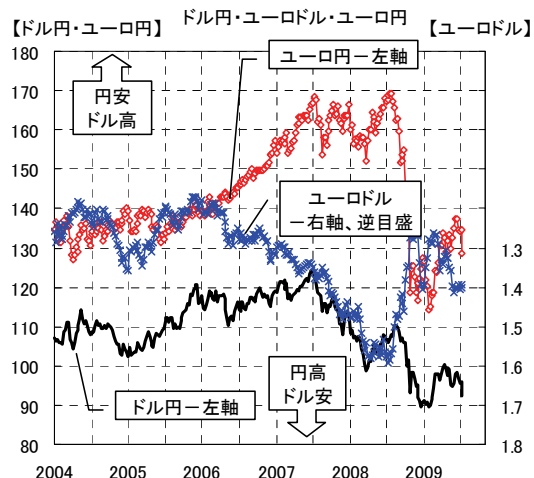


出所: Datastream、Bloomberg より三菱UFJ信託銀行作成

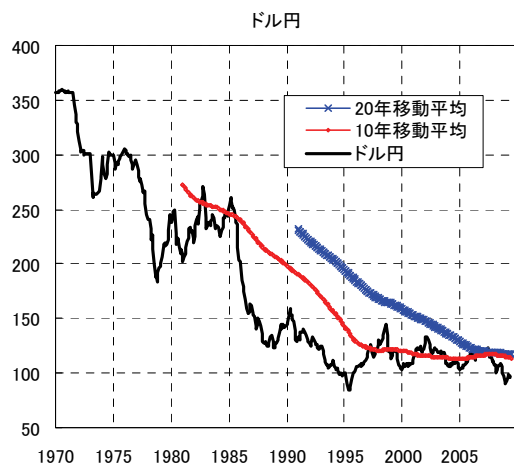
○ 3極通貨(90年以後): 円が高値圏から調整



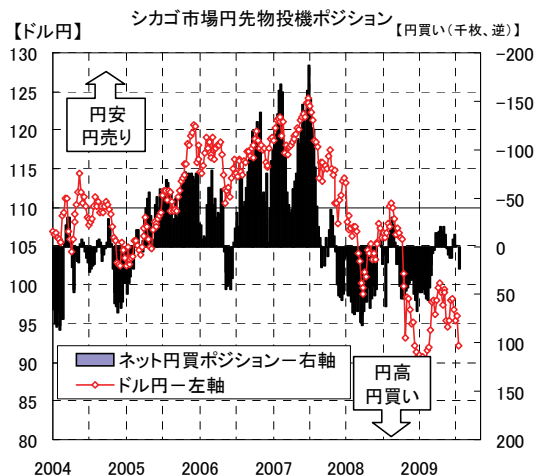
○ 3極通貨(過去2年): 円高一服後もみ合い



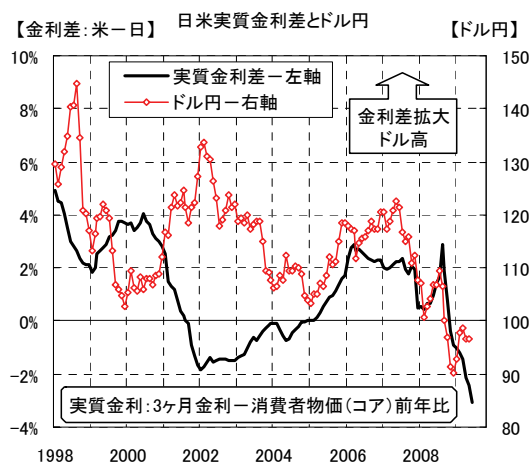
○ ドル円(1970年以後): 95年来の円高局面



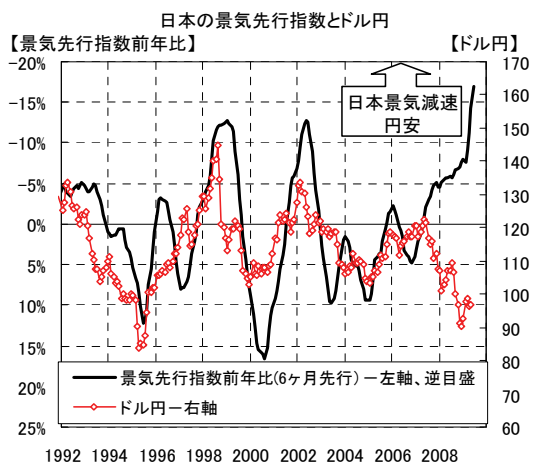
○ 投機ポジション: 円ポジションはニュートラル



○ 金利差とドル円: 08年以降概ね連動

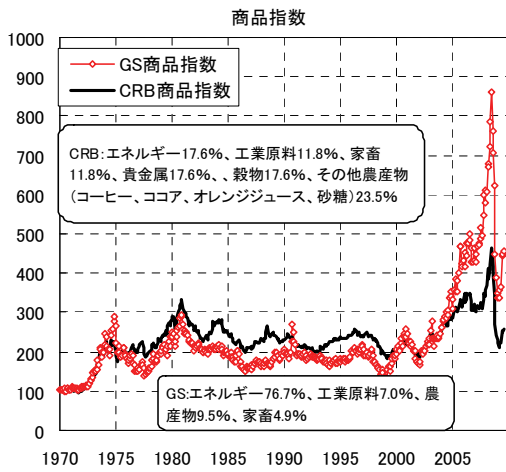


○ 国内景気とドル円: 景気との乖離拡大



出所: Datastream、Bloomberg より三菱UFJ信託銀行作成

○商品指数



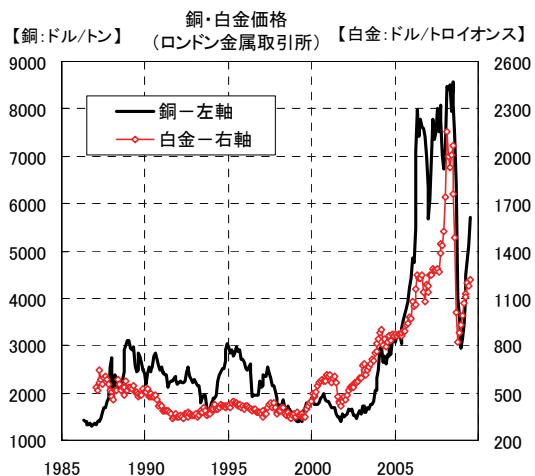
○原油価格



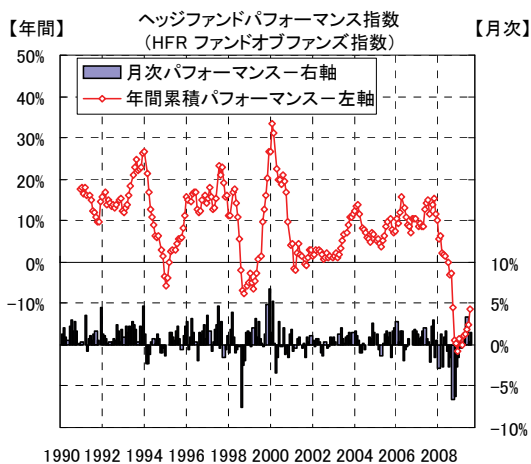
○金価格



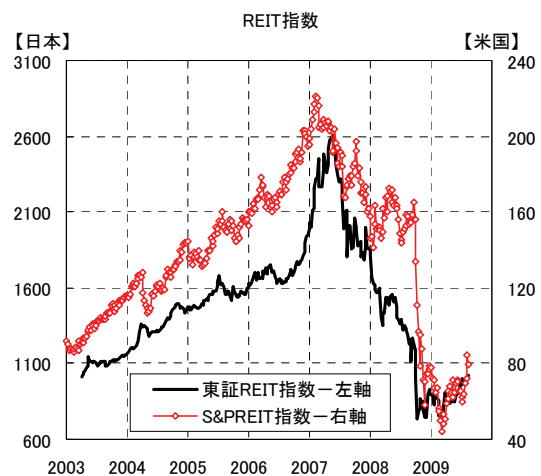
○銅・白金先物



○ヘッジファンド指数



○REIT指数



出所: Bloomberg より三菱 UFJ 信託銀行作成

本資料について

- 本資料は、お客さまに対する情報提供のみを目的としたものであり、弊社が特定の有価証券・取引や運用商品を推奨するものではありません。
- ここに記載されているデータ、意見等は弊社が公に入手可能な情報に基づき作成したのですが、その正確性、完全性、情報や意見の妥当性を保証するものではなく、また、当該データ、意見等を使用した結果についてもなんら保証するものではありません。
- 本資料に記載している見解等は本資料作成時における判断であり、経済環境の変化や相場変動、制度や税制等の変更によって予告なしに内容が変更されることがありますので、予めご了承下さい。
- 弊社はいかなる場合においても、本資料を提供した投資家ならびに直接間接を問わず本資料を当該投資家から受け取った第三者に対し、あらゆる直接的、特別な、または間接的な損害等について、賠償責任を負うものではなく、投資家の弊社に対する損害賠償請求権は明示的に放棄されていることを前提とします。
- 本資料の著作権は三菱 UFJ 信託銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。
- 本資料で紹介・引用している金融商品等につき弊社にてご投資いただく際には、各商品等に所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等には相場変動等による損失を生じる恐れや解約に制限がある場合があります。なお、商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、当該商品の契約締結前交付書面や目論見書またはお客さま向け資料をよくお読み下さい。

編集発行：三菱UFJ信託銀行株式会社 投資企画部
東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 Tel. 03-3212-1211（代表）